

工事進む街中再開発

市の再生につながっていくのか？

中心市街地区画整理事業の第1街区である上之町の一部で、換地が完了し、建物の建設工事が進んでいます。国道から北側の一部地域では、和風の建物が統一されて何軒か建設されていますが、そこ以外では統一されていません。

国道南側には、材木町から県重要文化財の「旧貯蓄銀行」が移築され、同敷地内に新しく「生方記念文庫」が建設される予定です、これからも多額の市費が投入されます。たしかに道路が広く整備され、一部の商店も新築されて、街が発展しているように見えますが、あくまで一部であり、全体としてみると商店や居住人口は激減しています。多額の市費を投じた見返りが、市や市民全体にあるとは思えません。



シートや板などで覆われた
ままの旧貯蓄銀行（材木町）



旧貯蓄銀行の移転予定地（上之町）

12年度産米の数量目標提示される

このほど2012年の米の生産数量目標が国から自治体に提示されました。それによると沼田市の今年（2012年）の生産数量目標は、2,248トンで前年より10トン増えて前年比で100.4%になります。面積換算では、前年より3ha増えて414haになり、全田面積の54%程度であり、約半分の田んぼで米を作ってはいけないということに代わりはありません。

現在では減反に協力しないと「ペナルティ」があった自民党農政時代と違い、生産調整を行なうかどうかは個々の農業者に任されています。ただ、生産調整に協力しないと民主党政権が始めた「個別所得保障」を受けられません。

県労会議が市長と懇談

1月25日、群馬県労働組合会議は沼田市役所内において星野市長はじめ市幹部と「公契約制度」などの問題で懇談しました。



市長のあいさつを受ける県労会議のみなさん

懇談は、県労会議から事前に提出しておいた要望事項にそって行なわれ、市役所で働く非常勤労働者や公共事業で働く民間労働者の待遇改善を要望、特に公共事業関係では「公契約条例」によって働く労働者の待遇改善がはかれるよう要望しました。また、地域防災計画の見直しやTPP参加に反対してほしいとの要望も出され、市長から「その方向で進めたい」などの回答がありました。この懇談には井之川博幸市議も同席しました。

日本共産党利根沼田地区委員会

新春のつどい

のご案内

日時：2月12日（日）午後2時より

場所：利根沼田文化会館3階会議室



楽しいアトラクションや甘酒のサービスもあります！
最新の情勢も聞けますので、ぜひお誘いあつてご参加下さいね。

2012年1月29日

No.593

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983

☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料